

【事業実績】

インクルーシブな環境づくりに向けた学びと、プログラムの開催

●インクルーシブデザインについての講義の受講と、ワークショップ

2023年7月12日(水)・9月22日(金)@ちひろ美術館／12月4日(月)@練馬区立石神井図書館

対象：フォーラムメンバー 参加者：15名 講師：山田小百合(特定非営利活動法人 Collable 代表理事)

「誰もが社会に参画できる」未来を目指して活動している山田氏を講師に迎え、インクルーシブデザインの考え方について話し合いながら学んだ。次に、美術館、図書館を会場に、リードユーザーと呼ばれる、気づきを導く役割の方々を迎えて彼らの意見を聞きながら館内外をめぐり、気づきを発表した。

●障がいのある方のための鑑賞会

2023年11月27日(月)@ちひろ美術館・東京 協力：アート・コミュニケータ東京

対象：身体障害者手帳・療育手帳などをお持ちの方とその介添え(1名まで) 参加者：計10組

サポート経験豊富なアート・コミュニケータが参加者と交流・会話をしながら展示を楽しんだ。

参加者の声 「担当の方と話しながらより深く絵を鑑賞できて楽しめた。絵本を皆で読む機会もあり、ちひろのやさしく強い絵に励まされた。」

●アトリップ(認知症の方に向けた対話型アート鑑賞プログラム)

2023年10月27日(金)@ちひろ美術館・東京 対象：認知症の方とご家族や介護の方

講師：林容子(アーツアライブ代表) 協力：一般社団法人アーツアライブ 参加者：4名とその家族
案内役の講師に導かれ、参加者は座ったまま、作品を見、対話を重ね、いきいきとした表情を見せていた。

●手話通訳つきギャラリートーク

2023年12月9日(土)@練馬区立美術館／12月16日(土)@ちひろ美術館・東京

手話通訳者：和田みさ、永井珠央 対象：手話を主要なコミュニケーション手段とする方(ろう者、難聴者、中途失聴者など)のほか、どなたでも 参加者数：練馬区立美術館19名／ちひろ美術館15名
経験が豊富な手話通訳者とギャラリートークを開催。立つ位置など、開催側も学ぶことが多くあった。

参加者の声 「どれも素敵な作品ばかりでしたので解説や手話通訳が付くことで分かりやすく、絵本の世界に引き込まれました。また機会があれば参加したいと思います。」

●目の見えない白鳥さんといっしょにちひろの絵を楽しもう

2024年1月8日(日)@ちひろ美術館 講師：白鳥建二(全盲の美術鑑賞家、写真家) 参加者：9名

昨年に続き、開催側も学びの多かった鑑賞会を開催。白鳥さんとともに絵を見る楽しさを実感した。



インクルーシブデザインの講義



障がいのある方のための鑑賞会



アトリップ

地域の子ども、若者、親子とともに

●あかちゃん・子どものための鑑賞会

2023年9月16日(土) / 9月23日(土) @ちひろ美術館 対象：0～2歳児 / 3～6歳児とその親
講師：富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表) 参加者：22名 / 26名
親も子もリラックスして新たな発見があり、参加者同志の交流も含め、あつという間の時間だった。

●ワークショップ あなたの「好き」をつくろう、えがこう！

2023年11月26日(日) @ちひろ美術館 対象：外国語を母語とする親子(日本の親子の方も可) 講師：富田めぐみ(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表) 参加者：親子4組
中国、韓国、台湾をルーツとした家族と日本の家族が参加。表現から見える子の成長、関わり方の話も。
参加者の声 「忙しい生活のなかで、いい親子のイベントになりました。」

●講演会「谷内こうたの世界 ー風と光と音の詩人ー」

2023年9月3日(日) 講師：松本猛(ちひろ美術館常任顧問)
参加者：@石神井図書館 26名 貫井図書館 13名 南田中図書館 4名

●対談 対談 村上康成・はたこうしろう いま、絵本でつたえたいこと

2023年10月8日(日) 参加者：@石神井図書館 28名 貫井図書館 23名 南田中図書館 17名
本会場以外にサテライトで同時上映。新たに託児も設け子育て中の方も気軽に参加できるよう工夫した。

●出張「子育てのひろば」

2023年9月15日(金) / 11月10日(金) @ちひろ美術館 対象：乳幼児と保護者 参加者：親子8組
子どもとその保護者が、地域で活動する子育てひろばの職員と交流。4年ぶりの開催。
参加者の声 「初めてあかちゃんやママさんとおしゃべりできました。」

●美術館カードで絵を楽しもう！

2024年1月6日(土) @南田中図書館 / 1月20日(土)、21日(日) @練馬区立美術館
対象：児童、幼児とその保護者、一般 参加者：南田中図書館 16名 / 練馬区立美術館 2日間計 86名
所蔵品カードのワークショップ。ねりま若者サポートステーションに登録する若者たちが進行を務めた。
参加者の声 「そうぞう力がゆたかになった気がしました。」



子どものための鑑賞会



出張「子育てのひろば」



美術館カードで絵を楽しもう！

アクセシビリティを高めるツールの制作

●手話つき動画ガイドの制作と発信

2023年の聞き取り調査を参考に、聴覚障がい者も楽しめる手話つきの美術館紹介動画を制作した。
映像制作：今井ミカ 株式会社サンドプラス 手話翻訳・監修：那須善子 協力：TOPPAN 株式会社